

Business Overview 1

当社は、「環境システム（産業空調・ビル空調）」と「塗装システム」を事業の柱とし、環境エンジニアリング企業としてグローバルに事業を展開しています。建設業の中で当社は海外売上比率が極めて高いことが特徴で、19か国に28の海外連結子会社を有しています（2025年3月31日現在）。長年にわたり現地に根付いた活動を推進してきたことで、すでに非日系企業から数多くのプロジェクトを受注している連結子会社もあります。国境を超えてリソースの流動的な活用ができる、この強固なグローバルネットワークは、大気社グループの大きな強みとなっています。

エネルギー・空気・水の創造的なエンジニアリングを通じた事業領域

現在、大気社グループは、エネルギー・空気・水の創造的なエンジニアリングにより、3つの事業分野を展開しています。

産業空調分野

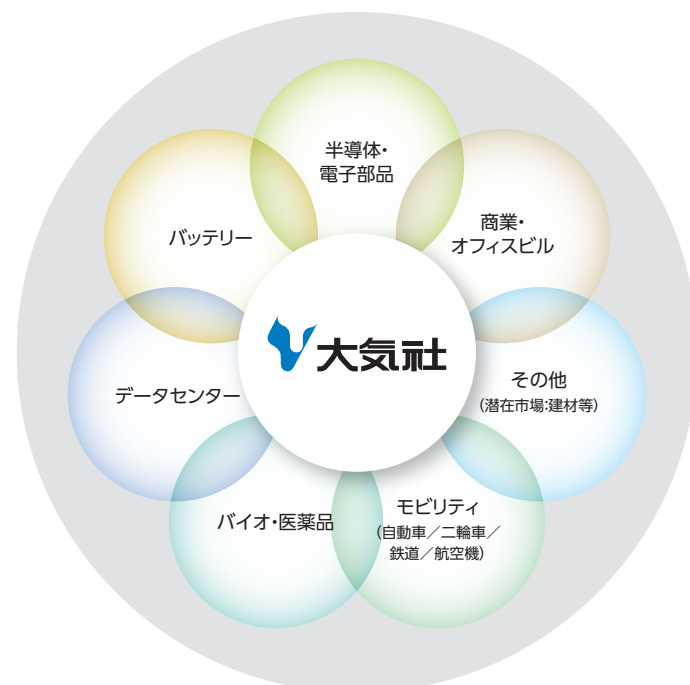
半導体や医薬品など高度な清浄度が求められる生産施設や研究所向けに、最先端のクリーンルームや空調システムを提供しています。「ものづくり」の現場を支えるとともに、排気処理技術など環境負荷低減にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献しています。

ビル空調分野

オフィスビルやデータセンター、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、多様な施設に快適な空間を提供するための空調システムを設計・施工し、人々の健康と快適な暮らしを支えています。

塗装システム分野

日本をはじめ、アメリカ、欧州、韓国、中国、インドなど世界各国の自動車メーカー向けに、大規模な自動車塗装工場の設計・施工を手掛けています。当社の塗装工場は、省エネルギーと高度な環境対応技術を両立させ、世界トップクラスの売上実績を誇ります。



私たちの競争優位と創業より培われた強み

顧客のニーズ

産業空調分野

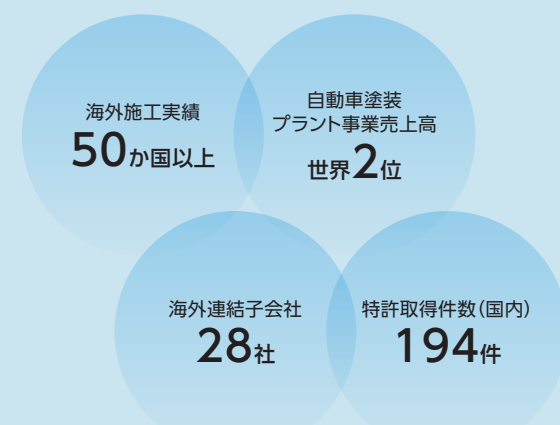
電気・電子部品メーカー
ハイレベルな清浄度や、超精密な温度制御など最先端の製造技術が必要

医薬品メーカー
プロセスごとに存在する多数の製造機への対応や高度な室圧制御技術が必要

塗装システム分野

自動車の生産性を考慮したトータルエンジニアリングやメーカーのCO₂削減ニーズに応える環境対応技術が必要

培ってきた実績と評価



2024年度は国内市場では半導体関連や自動車メーカー、データセンター関連の投資が継続しており、都市圏における再開発の需要も堅調に推移しました。また、海外市場においても世界経済の減速懸念はあるものの、各メーカーによる設備投資は堅調に推移しました。

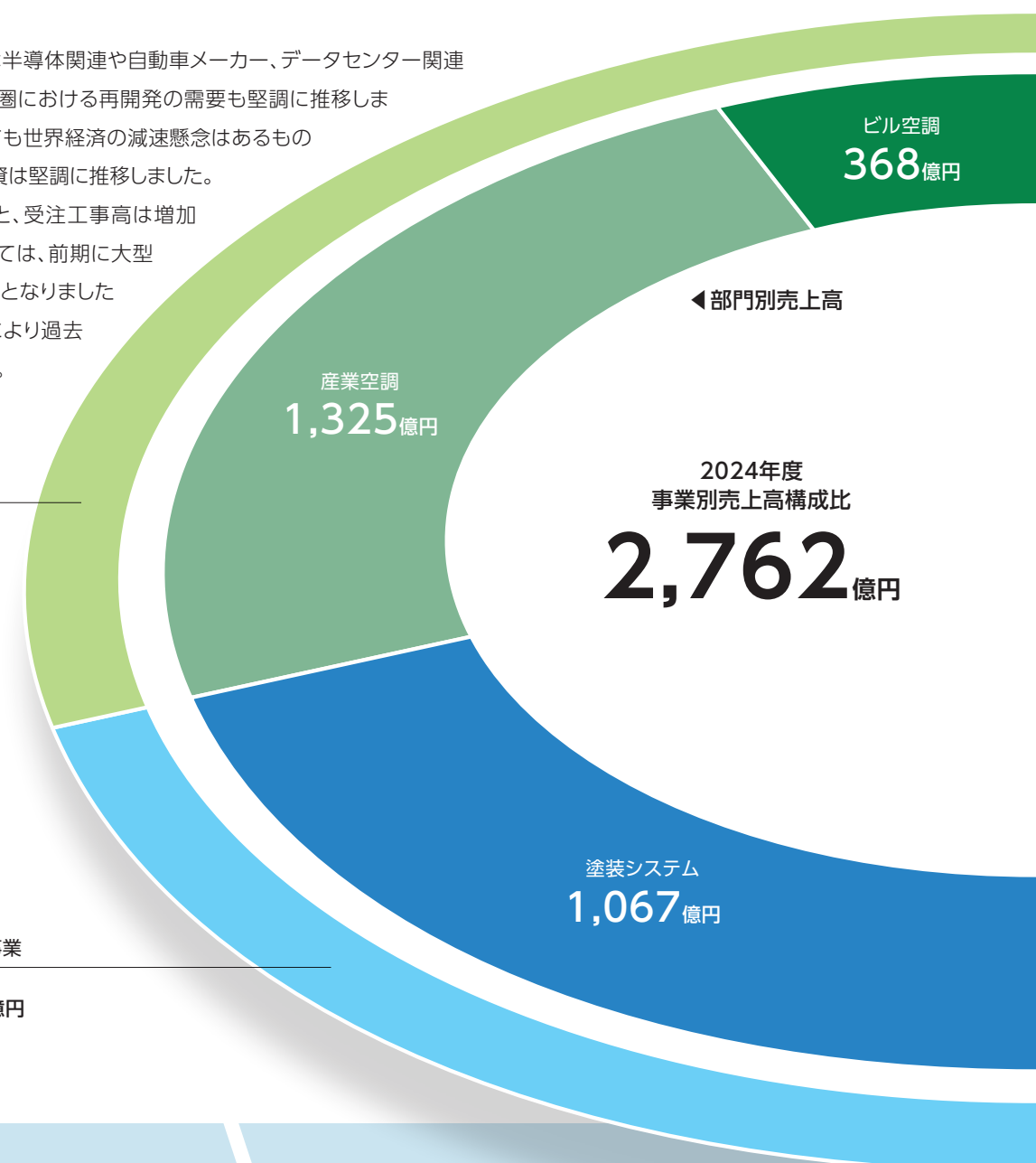
そのような市場環境のもと、受注工事高は増加しました。完成工事高においては、前期に大型案件があったことから反動減となりましたが、工事の採算性改善などにより過去最高の経常利益となりました。

環境システム事業

1,694億円

塗装システム事業

1,067億円



大気社の強み① 産業向けビジネス

製造業を中心に幅広い産業の工場・研究所などの設備エンジニアリングに強み

豊富な実績	高度な技術・ノウハウ
恵まれた顧客基盤	優れたエンジニア

- 産業向けビジネス比率
「2025年3月期（産業空調＋塗装システム）
受注工事高比率」



大気社の強み② グローバルビジネス

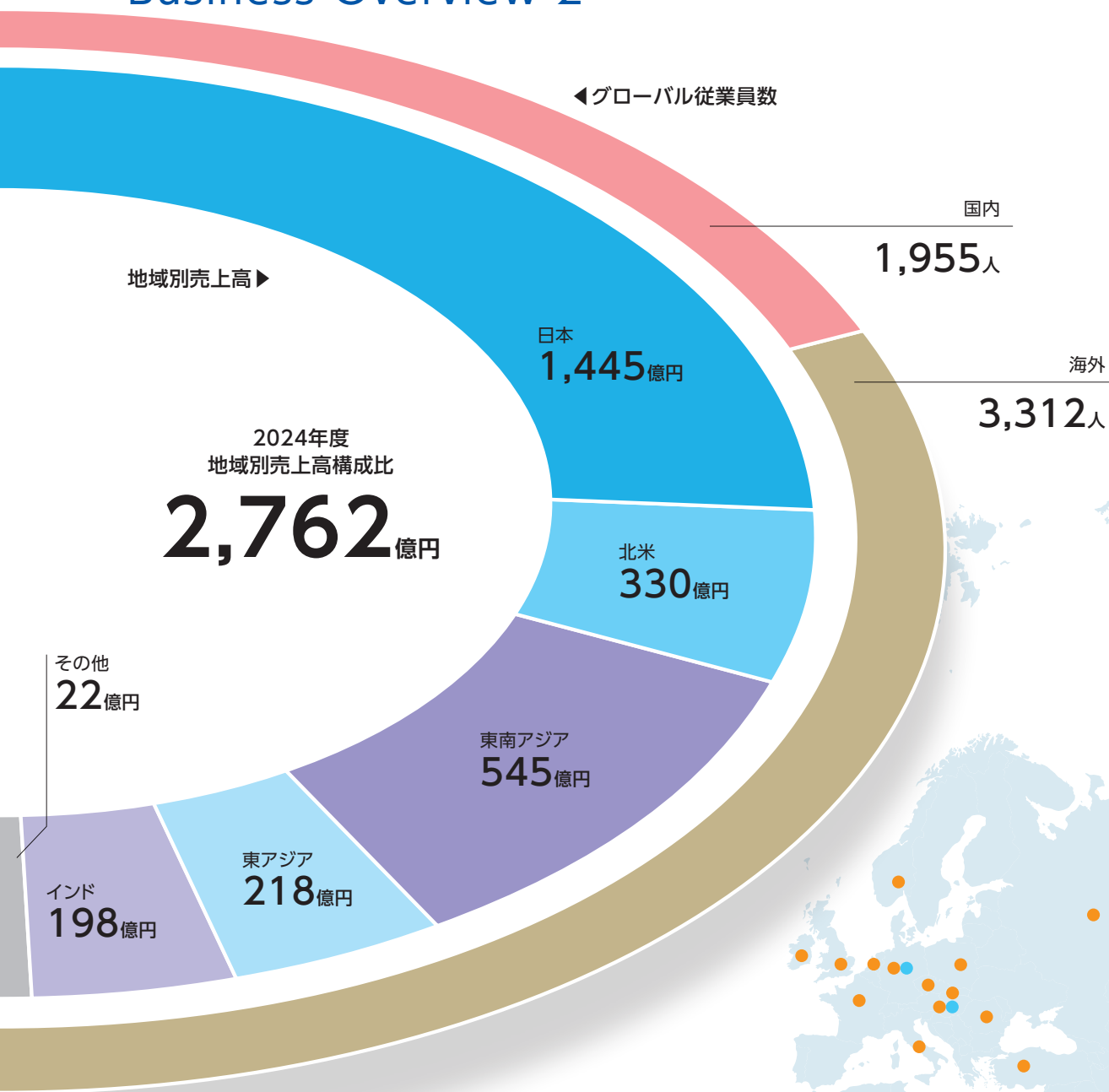
1980年代から海外展開を行い「地域密着型のグローバルネットワーク」を確立

地域密着型グローバルネットワーク	グローバルな人的資本
海外の研究開発拠点・ラボ	日系企業・非日系企業との取引実績

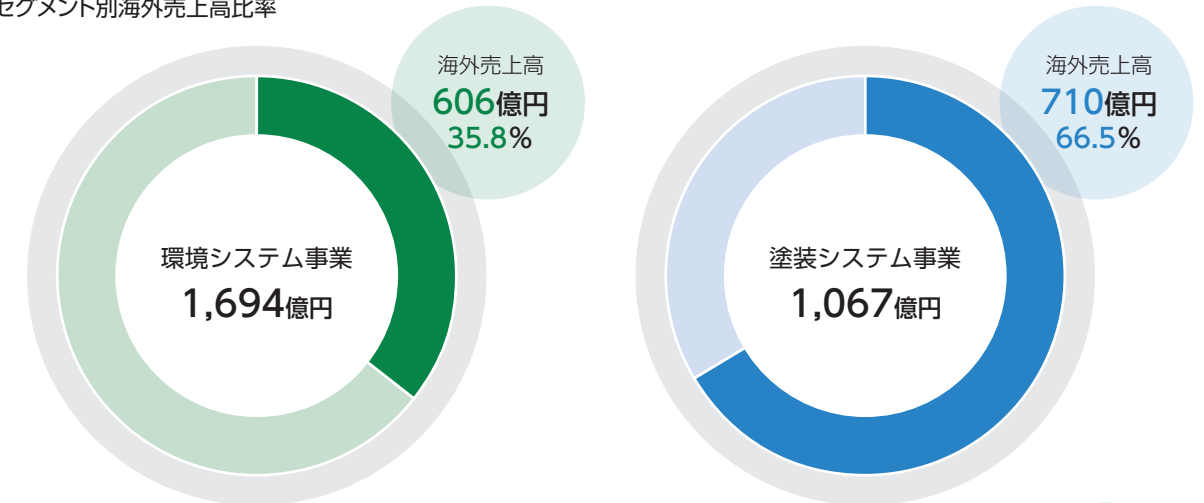
- グローバルビジネス比率
「2025年3月期海外受注工事高比率」



Business Overview 2



●セグメント別海外売上高比率



●グループ企業

日本

サンエス工業(株)
日本ノイズコントロール(株)
東京大気社サービス(株)
(株)ベジ・ファクトリー
(株)フレデリッシュ

ヨーロッパ

Taikisha Deutschland GmbH
Taikisha Hungary Kft.

アジア

五洲大気社工程有限公司
天津東橋大気塗装輸送系統設備有限公司
天津大気社塗装系統有限公司
華氣社股份有限公司
株式会社 韓国大気社
Taikisha (Thailand) Co., Ltd.
Taikisha Trading (Thailand) Co., Ltd.
Thaiken Maintenance & Service Co., Ltd.

2024年 (ドイツ)
2024年 (ハンガリー)

1994年 (中国)
2004年 (中国)
2010年 (中国)
1989年 (台湾)
1992年 (韓国)
1971年 (タイ)
1983年 (タイ)
1990年 (タイ)

Token Interior & Design Co., Ltd.
TKA Co., Ltd.

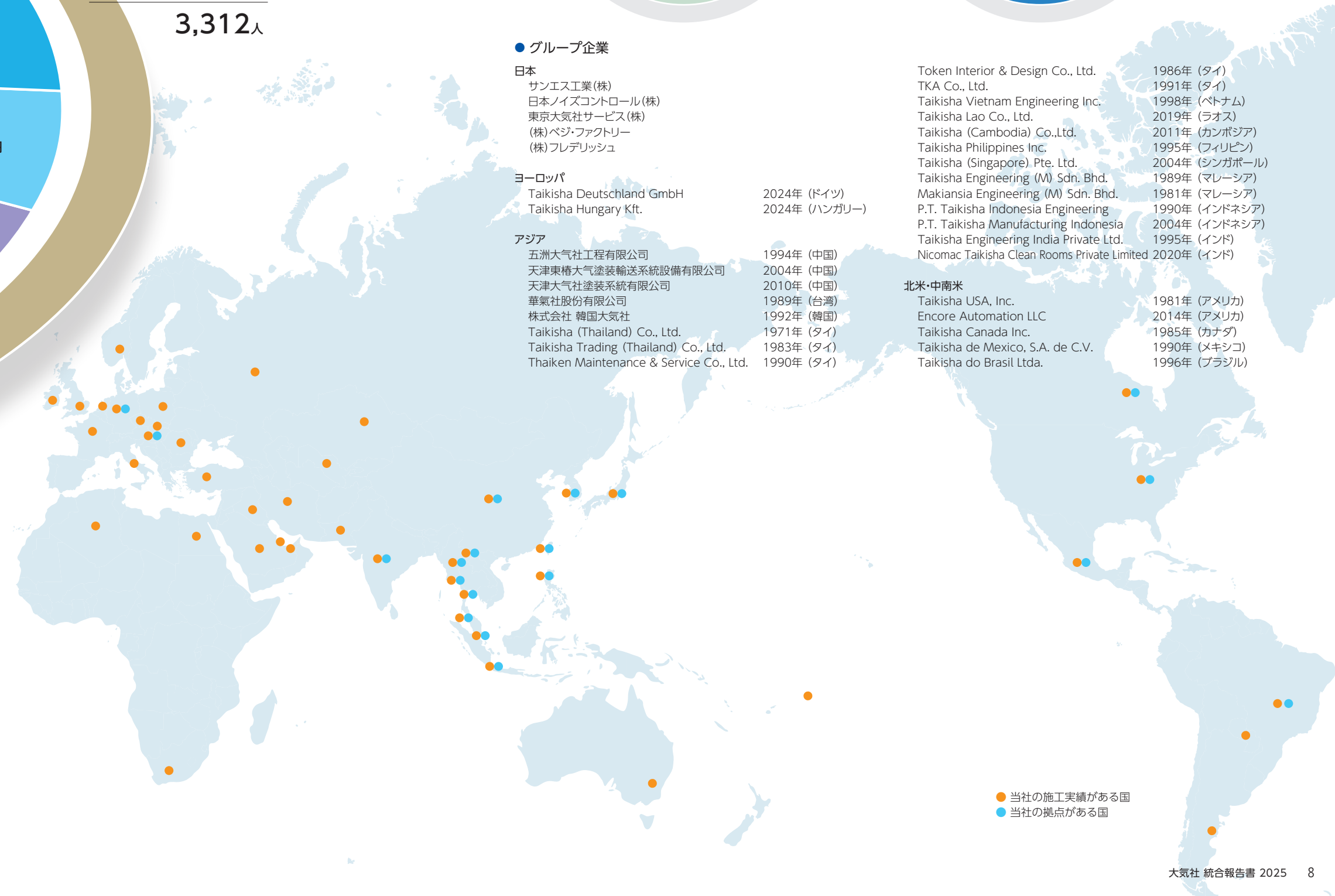
Taikisha Vietnam Engineering Inc.
Taikisha Lao Co., Ltd.
Taikisha (Cambodia) Co.,Ltd.
Taikisha Philippines Inc.
Taikisha (Singapore) Pte. Ltd.
Taikisha Engineering (M) Sdn. Bhd.
Makiansia Engineering (M) Sdn. Bhd.
P.T. Taikisha Indonesia Engineering
P.T. Taikisha Manufacturing Indonesia
Taikisha Engineering India Private Ltd.
Nicomac Taikisha Clean Rooms Private Limited

1986年 (タイ)
1991年 (タイ)
1998年 (ベトナム)
2019年 (ラオス)
2011年 (カンボジア)
1995年 (フィリピン)
2004年 (シンガポール)
1989年 (マレーシア)
1981年 (マレーシア)
1990年 (インドネシア)
2004年 (インドネシア)
1995年 (インド)
2020年 (インド)

北米・中南米

Taikisha USA, Inc.
Encore Automation LLC
Taikisha Canada Inc.
Taikisha de Mexico, S.A. de C.V.
Taikisha do Brasil Ltda.

1981年 (アメリカ)
2014年 (アメリカ)
1985年 (カナダ)
1990年 (メキシコ)
1996年 (ブラジル)



Business Overview 3

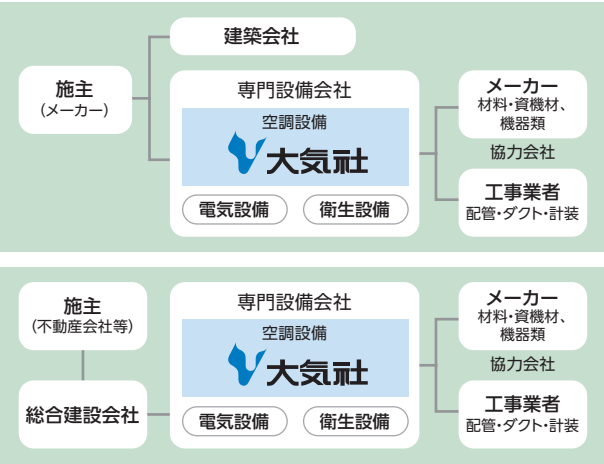
環境システム事業

経営資源の重点配分と

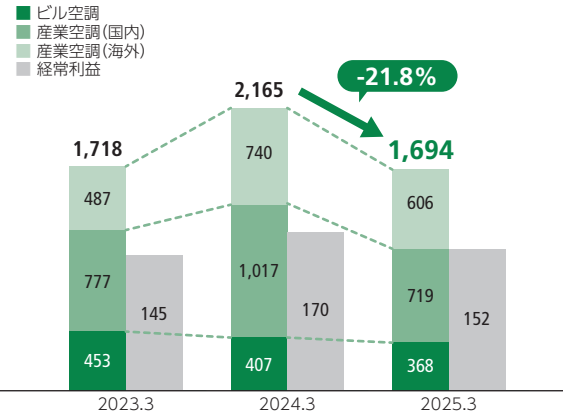
お客さまへの積極的な提案活動により、さらなる受注拡大を目指します。

「産業空調システム分野」および「ビル空調システム分野」を国内から海外まで幅広く展開し、お客さまの環境価値向上に貢献しています。産業空調システム分野では、電子部品、医薬品、バイオテクノロジーなど、製造過程で高清浄環境が要求される生産工場や研究施設を対象に、ものづくりに不可欠な空調設備の最適化を担います。また、排気処理装置や公害防止装置などの環境保全装置の提供にも注力しています。ビル空調システム分野では、オフィスビルをはじめ、データセンター、学校、病院、ホテル、美術館、空港ターミナルなど、多くの人々が集まる施設の新築からリニューアルまで、人々と環境に配慮した快適な空間を提供する空調設備の設計・施工を行います。

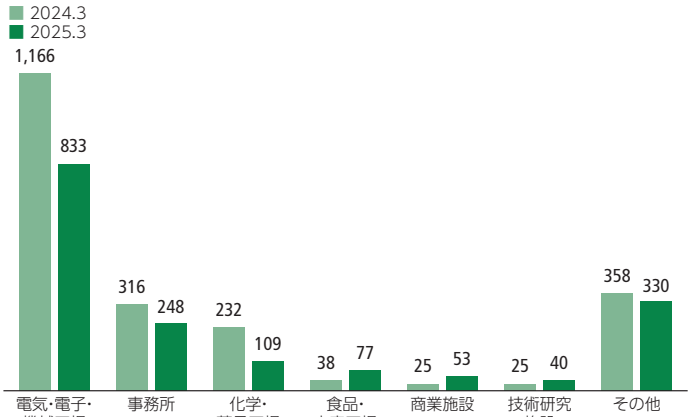
■ 業界における立ち位置
製造業向けの新工場建設の場合（一例）



■ 完成工事高・経常利益 推移(億円)



■ 市場種別完成工事高(億円)



さらなる事業領域の拡大に向けて

半導体:シリコンアイランド・東アジア戦略

- 地域密着のプロジェクト体制強化
- 半導体関連投資の受け皿としてのASEAN組織体制強化
- 精密温調等ハイエンド向けソリューションの提供

電子部品:日系グローバル企業への対応力の強化

- 水再利用事業への参入
- エネルギーマネジメント事業の強化
- 海外電気事業の強化

「日本」における事業基盤の強化

- 人的リソースの増強、最適化

■ 設計・施工段階でのさらなる生産性向上

■ 協力会社との関係強化

「ASEAN」における事業基盤の強化

- シンガポールに「アセアン統括部」を設置
- ASEAN拠点横断型協力体制の強化(Global Operation Diversity)
- 技術クイパビリティを視覚化する拠点設立
- Design&Buildグローバルスタンダードの確立

エネルギーソリューションの高度化

- ミニエンパイロメント化(精密温調チャンバーの領域拡大)
- 生産装置連動制御(システム運転min化)

■ EMSシステムの高度化(AI活用・故障予知)

■ 自然エネルギーの活用

資源循環対応の強化

- 水処理領域への参入(半導体・電子部品向け)
- 溶剤回収・精製装置の開発(NMP・固体電池向け溶剤)

環境規制対応の強化

- 排気処理の非燃焼化(電化・排気再利用)
- DACの空調システムへの導入(回収CO₂の活用)

成長への布石

カーボンニュートラルに向けた「GXエンジニアリング技術開発」の推進

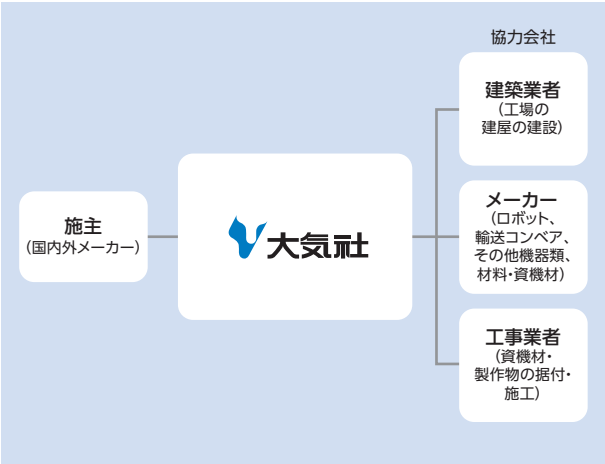
塗装システム事業

経営資源の重点配分と海外グループ会社との連携により、さらなる受注拡大を目指します。

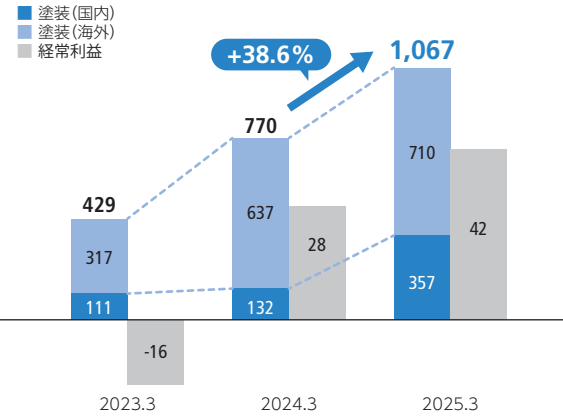
排気処理や気流制御など、空調設備事業で培ったコア技術をベースに発展し、高い塗装品質の実現と省エネルギー技術や先進的な環境技術を調和させた自動車塗装プラントの設計・施工を行っています。近年では、航空機や鉄道車両の塗装などにも取り組んでいます。

自動車塗装プラントは、日本国内をはじめ、アメリカ、欧州、韓国、中国、インドなど各国の自動車メーカーから受注を獲得しており、現在、世界トップクラスのシェアを誇っています。塗装ロボット、搬送システム、塗料供給システム、ひいては工場全体の設計から建設まで、トータルなプラントエンジニアリングを提供します。塗着効率100%を追求し、使用塗料・VOC排出量のミニマム化を目指すとともに、お客さまのエネルギーマネジメントにも貢献しています。

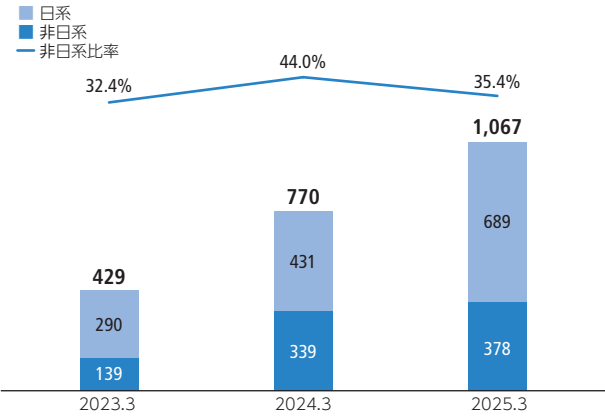
■ 業界における立ち位置
自動車メーカーの新塗装工場建設の場合（一例）



■ 完成工事高・経常利益 推移(億円)



■ 非日系メーカー完成工事高比率(億円)



さらなる事業領域の拡大に向けて

グリーンファクトリー化:「ドライ加飾技術」実用化

- デモラインの拡充、実ライン導入へ
- 四輪車OEMへの積極展開

スマートファクトリー化:「オートメーション技術」の高度化

- 塗装領域外のオートメーション技術蓄積
- デジタルツイン

「欧州顧客ポートフォリオ」の拡大

- 納入実績拡大と認知度向上
- 欧州市場での運営体制強化と拡充展開(サプライチェーン協業、アライアンス体制構築)

■ 欧州環境規制に適合した技術提案

塗装技術の他産業への展開

- 多品種少量生産のスマートファクトリー
- ドライ加飾適応市場の探索

産業空調領域のスマート化

- デジタルツイン技術によるコンサルティングからアフターメンテナンスまでの一貫したサービスの提供
- GHG削減提案による工場運営コンサルティングの実現

成長への布石

「四輪」市場におけるプレゼンスの維持・向上
「非四輪」市場における事業機会の創出(鉄道、航空機、他の製造業)